

## 新型ハンターカブ J A 5 5 カバーの外し方手順。

シフトインジケーターを取り付けるに当たって  
3枚のカバーを外します。

正式な部品名は 分からないので 簡単な名前を付けます。

一つ目は 真ん中の所に付いているカバー センターカバーと言う名前を付けます。

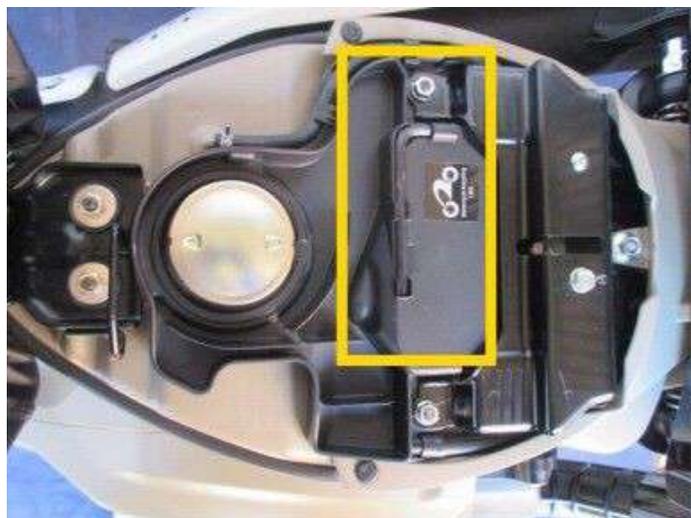
2つ目 座席の下にあるカバーは 125カバーに しましょう。

3つ目 この細長いカバーは 左側サイドカバーと しましょう。



カバーを外す時の道具を説明します。

- (1) 六角レンチ ガソリタンクの所に有るのを利用します。
- (2) 内張りはがし ホームセンターやカーショップに売っています。
- (3) 養生テープとバスタオル
- (4) 10ミリボックスレンチ



最初に センターカバーを外しますが、  
その前に樹脂クリップの外し方を説明します。  
ハンターカブに付いている樹脂クリップの真ん中部分を、  
とがった物で押し込むとロックが外れると同時に  
真ん中の芯棒も本体から外れ どこかに吹っ飛んでしまいます。  
これで一巻の終わりです。

通常の樹脂クリップは押し込むと、それ以上先に行かないで止まるが  
ハンターカブの樹脂クリップは、止め度もなく 先に進んで  
真ん中の芯棒を押し出してしまう。

一番良い方法は、樹脂クリップ真ん中 ボツツチに、  
六角レンチのカドを押し当てると、  
ちょうど良い当たり具合になり、簡単に外す事ができます。  
芯棒が どこかに吹っ飛んで 無くなる事は絶対に有りません。

.....

それでは最初に センターカバーを外します。  
右側の樹脂クリップを外します。真ん中のネジを外します。



センターカバーの溝に「内張りはがし」を差し込んで・・・はがす。



ここで **最初で最後の難関**が やって来ました。  
このまま 前に引っ張れば 外れるのが当たり前。  
当たり前の事が 当たり前にできないのが タイ製ハンターカブ。  
カバーを斜めに持ち上げて 持ち上げすぎるとツメが折れてしまうので  
気を付けましょう。

斜めに持ち上げる加減が微妙。  
ここに キズを付ける可能性があるので、バスタオルで養生。



タオルで養生

斜めに持ち上げながら手前に引っ張って外すのだが 意外と難しい。  
とにかく時間をかけて 慎重に外して下さい。



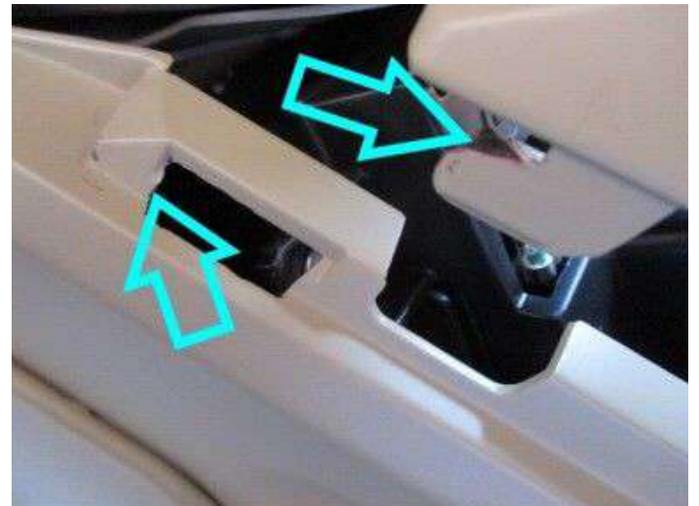
ここのツメを折らないように慎重に。



何とか外れました。



うまく外れましたら ここんとこを ヤスリで削ると  
次回から 簡単に 外れるようになります。



これで、センターカバーが外れました。  
ネジや樹脂クリップは 養生テープで止めて置きましょう。



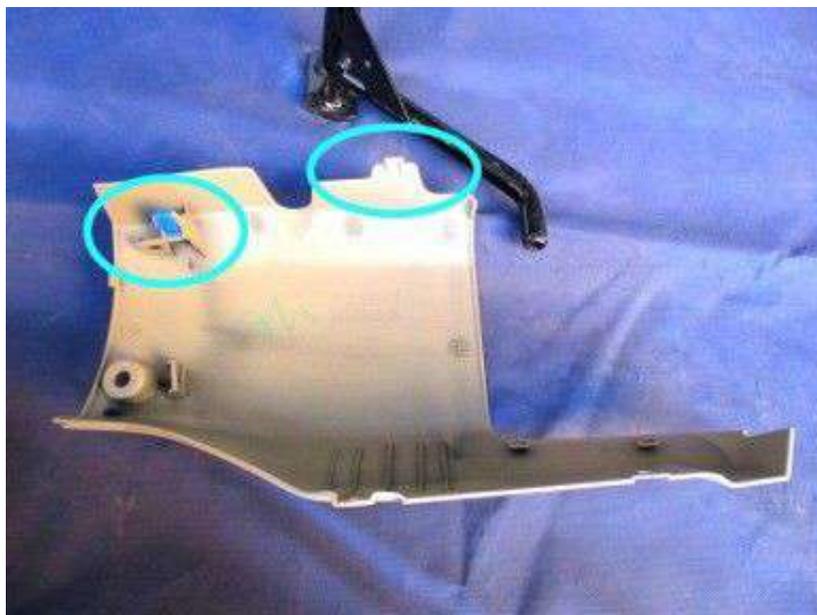
次に125カバーを外します。  
樹脂クリップを外します。 ネジを外します。



上下をつかんで 手前に引っ張ればと外れます。



2か所のツメが刺さっているので、  
ある程度の力で 手前に引っ張らないと 外れません。



拡大図



最後に このサイドカバーを外します。



最初に カバー裏側にある 2ヶの樹脂クリップを外します。



外れました。



平面の樹脂クリップを外します。2つのネジを外します。  
右下の10ミリボルトを外します。



内張りはがしを使って サイドカバーを分割します。  
両端の どちらかに当てると はがしやすいです。



3枚のカバーが外れましたら、更に2つの部品を外します。  
細長カバーとスプロケカバーを外して下さい。



外れました。これで全てのカバーが外れました。



全てのカバーが外れましたら  
いよいよ、**Aipro APH9-SP**の取り付けです。

⑤製品の熱収縮チューブで保護している基盤部は大変繊細な部位ですので、結束バンドなどで縛り付け  
圧迫しないで下さい。断線の原因になります。

**特に9Pコネクタと緑色のギボシ配線が大変繊細なため、取り扱いには十分ご注意ください。差し抜きの際に力を入れすぎたりすると断線など予期せぬトラブルにつながります！**

#### [注意事項]

① 太陽光を直接あてると、アイプロに損傷を与える場合がありますので、直射日光があたったままの状態  
で駐停車しないようにしてください。

② 不正ノイズによる誤動作や製品故障を防ぐため、IGコイルとは離してアイプロ(配線と本体)  
を設置してください。(少なくとも30cm以上)

③ 社外品のH.I.D キット、LED ランプ(フォグ/ヘッドライト)、一部のETCなど高出力の電装品は、バラスト/インバーター(電圧変換装置)からデジタル回路に悪影響を与える高電圧ノイズが出る場合がほとんどで、製品故障や動作不良の原因となりますので、絶対に同時装着しないで下さい。

④社外品の点火装置[タコメーター](イグニッションコイルやプラグコード)は点火電圧のアップに伴う、放射ノイズの増大により誤動作や製品故障の原因となりますので併用しないで下さい。どうしても併用されたい場合は専門の方とご相談し、ノイズ対策を実施した上、ご利用ください。

**なお、併用の場合は自己責任にてお願いいたします。併用による故障はメーカー保証はご利用頂けませんので、予めご了承ください。**